

【2024年度 事業計画】

I 事業の実施方針

気候の危機は、ますます深刻さを増し「地球沸騰化」「気候地獄」という表現に変わるほど事態は深刻化しています。地球の平均気温の上昇 1.5°C が差し迫っていて、人類にとって、気候危機を回避できる残された時間は多くはありません。ドバイで開催された COP28 では、「化石燃料からの脱却」が合意され、再生可能エネルギーの容量を 3 倍にすることに多くの国が賛同しました。世界では一層の気候変動対策強化が求められています。

国内では、GX（グリーン・トランスフォーメーション）実現に向けた基本方針・脱炭素電源法は、原発の稼働期間延長や、化石燃料使用を長引かせるような技術に依存させる内容で、エネルギー政策が誤った方向に導かれています。気候変動・エネルギー政策の抜本的な見直しが求められます。

国内の自治体や企業も再生可能エネルギー100%を宣言するところが増え、急速な普及が模索されています。一方で、再生可能エネルギー設置への反対運動や誤った情報が拡散されて、大規模集中型の化石燃料・原子力利用から再エネ中心のエネルギーへの転換を阻むような動きも強まっています。

地域貢献型新電力との連携や脱炭素地域づくりにあわせた再エネ普及の取り組みも広がりを見せていて、「気候市民会議」の広がりなど新しい希望も生まれています。そのような動きに合わせて、市民と地域が中心となって再生可能エネルギー普及の取り組みを積み重ねていくことが求められています。

このような状況を踏まえて、2024年度もきょうとグリーンファンドが取り組んできた活動を継続して、多くの人々や団体と連携しながら、社会の課題解決と脱炭素地域づくりにつながるおひさま発電所づくりに取り組んでいきます。

- ① 脱炭素をめざす枠組み「市民再エネプロジェクトin京都」で、おひさま発電所設置拡大を軸に、さらに再生可能エネルギーの普及に努めます。
- ② 環境問題への関心を深め、具体的な行動に結びつけるための環境学習を広げます。
- ③ 認定NPO法人の制度を活用し、企業などさまざまなセクターからの理解を得ながら、財政基盤の強化に努めます。
- ④ 上記の活動を達成するため、会員の拡大に努めます。

II 特定非営利活動に係る事業

太陽光発電設備設置事業

- ・市民再エネプロジェクトin京都として、「おひさま発電所」の設置に取り組めます。
- ・寄付、おひさま基金からの助成、設置協力金、補助金などを組み合わせた仕組みで、さらに設置施設の拡大をめざします。
- ・「おひさま基金」の基盤強化に努めます。
- ・2024年度は、左京区の学校法人下鴨学園下鴨幼稚園と南区の社会福祉法人ののほな会吉祥院こども園に設置を進める予定です。

再エネ新電力との協力・連携

新電力の登録は 800 社を越えています。特に再エネ新電力は厳しい立場に立たされています。

脱炭素社会を実現するためにはまだまだ再エネが足りません。そのためにも太陽ガスをはじめとした再エネ新電力との協力・連携を強めていきます。

学習活動

前年度には気候危機に対する防災の観点から「おひさま発電所」設置施設に太陽光発電の災害時の自立運転の仕方などの職員研修の呼びかけをしましたが、実施に至りませんでした。しかし、毎年のように災害が発生する中、2024年度も積極的に実施を呼びかけていきます。アンケートなどを通して「おひさま発電所」設置施設の方々のご希望や、ご意見をうかがい、環境学習のプログラムを、より柔軟で魅力的なものに育てていきたいと考えています。

2024年度の環境学習としては以下の活動を行います。

- ① 子どもたちに向け、環境腹話術、自然観察会などのプログラムを各施設に提供します。
- ② 災害時、避難施設の電源として「おひさま発電所」の自立運転への切り替え方、活用方法などをレクチャーすると同時に防災の観点からの学習会をします。
- ③ 雨水タンクの設置を通じて、子どもたちに水の大切さを伝えます。
- ④ 園の職員に向けた自然観察会を提供します。
- ⑤ 環境への意識改革と行動を促す内容の職員研修を実施します。(以下 テーマ例)
 - ・エコすごろく作りワークショップ
 - ・パペットシアターのシナリオ作りワークショップ
 - ・省エネワークショップ
- ⑥ 環境学習の見学会を実施します。同時に「おひさま発電所」設置施設では「おひさま発電所」の見学会も実施します。

サポート活動

- ① 上鳥羽北部いきいき市民活動センター(以下いきセン)に対する環境活動のサポート
 - ・いきセンと協働して継続してきた上鳥羽地域での環境活動のサポートも 10 年目となります。「上鳥羽エコまちくらぶ」の「上鳥羽エコメイト」とともに上鳥羽地区でのエコ活動を進めていきます。中唐戸児童館との連携をより一層深め、児童とともに環境に関する学習を深めていきます。
 - ・地域団体の各種イベントの機会をとらえ、環境についての関心を高め、行動につながるよう働きかけます。
- ② 他府県、他団体のおひさま発電所設置に関するサポートやアドバイス

広報活動

- ① ニュースレター「ぐりふあんレター」の発行
 - 年 2 回程度発行し、きょうとグリーンファンドの活動、温暖化やエネルギーなどに関する情報や会員相互の親睦を図る記事を会員、一般市民に提供します。

- ② 各種催しに参加
環境問題・エネルギーなどに関するイベントや地域の催しに参加して活動を紹介し、理解と協力を求めます。他団体との連携も広げます。
- ③ ホームページ、Facebook、Instagram などを使った情報発信
きょうとグリーンファンドの活動状況をきめ細かく発信できるよう内容を更新します。
- ④ YouTube「きょうとグリーンファンド・ぐりふぁんチャンネル」の充実を図ります。

協力・連携

- ・ 認定NPO法人気候ネットワーク
- ・ 認定NPO法人環境市民
- ・ NPO法人京都地球温暖化防止府民会議（京都府地球温暖化防止活動推進センター）
- ・ NPO法人エコネット近畿
- ・ NPO法人KES環境機構
- ・ 一般社団法人市民エネルギー京都
- ・ 一般社団法人上鳥羽絆会
- ・ 公益財団法人パブリックリソース財団
- ・ 京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）
- ・ 京のアジェンダ21フォーラム
- ・ 京都市ごみ減量推進会議
- ・ 京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター
- ・ パワーシフト・キャンペーン
- ・ 京都市市民活動総合センター
- ・ 自然エネルギー学校・京都
- ・ Fridays For Future Kyoto
- ・ 国際ソロプチミスト京都ーみやこ・わかば
- ・ SoftBankつながる募金
- ・ 有限会社ひのでやエコライフ研究所
- ・ 株式会社シェアリングマネジメントサービス
- ・ ネオス株式会社
- ・ 太陽ガス株式会社（代理店：Happy Energy）
- ・ テラエナジー株式会社

以上の団体と協力、連携します。